

お客様各位

半べえ庭園のご利用について

平素より格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
 当庭園は、「料亭・れすとらん・温泉をご利用のお客様」にご散策いただけます。
 風情のある庭園づくりのために日々手入れを行っております。
 当店をご利用の皆様方によって、庭園が維持できておりますことに深く感謝申し上げます。

なお、昨年夏の西日本豪雨による影響で、半べえ庭園の山の部分で、一部立ち入りをお断りさせていただいている箇所がございます。
 ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

庭園と料亭 半べえ 店主

庭園散策絵図

景色、音、香り
庭へようこそ

① 聚花山

半べえ庭園の南東側、花と緑あふれる標高48mの自然の巨巒。山頂付近までならかな遊歩道が整えられ、花を見ながら散策もできます。昭和初期、創設者・金井半平が全国から取り寄せた約十萬本のつじを全山に散播。以来80年間育成につとめ、いまや300種類を超える様々なつじで毎年夏の聚花山を彩ります。このため、山茶花も咲き入ったくさの花が集まる山といふ意味をこめて「聚花山」と名付けられました。

② 龍門の滝

聚花山の麓の深部にあり、滝を登る巖の姿を表した御石に水がとうとうと流れ落ちます。巖が黄河上流の礫を降りきると龍になるという中国の故事にもなっています。

③ ご神木「幸せの木」

茶室の傍らに立つ樹齢200年の楠の老木。庭園の守り神のように静かに佇んでいます。そっと膝に触れると、幸せの力を分けてもらえる気持ちがあります。

④ 座禅石

椅子のような形には美しい景色を座って眺めるといふ意味があります。ここからは林泉の庭を身近に味わうことができます。

⑤ 水琴窟

仏像を彫り込んだ四方仏の手水鉢の形式です。琴のような美しい音が響きます。

一部、立ち入りいただけない区域があります

通常通りご散策いただけます